

「東京都女性活躍推進計画 平成29年度取組実績」

21 公益社団法人東京青年会議所

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		29年度取組実績
領域Ⅰ 働く場における女性の活躍		
⑦ 普及啓発活動の充実		
ア 情報の提供		
18	<p>(1)女性が結婚し、子供を産み育てながら、社会に参画できる、仕事が継続できる、社会のシステムが必要です。そのために意識の改革を行っていきます。</p> <p>①家庭内意識の変革 家庭内で育児、家事をシェアするという文化をつくります。特に夫の協力を働きかけます。</p> <p>②地域内意識の変革 各地区において、子供と教育について議論し、その重要性を発信します。併せて、父親への働きかけを行います。</p> <p>③企業内で可能な行動 経営者自身が考え、経営者自身で行動できる当団体の特性を活用して、各企業に対して、子供を育てながら仕事が継続できるように様々な提案をしていきます。</p> <p>(2)男女共同参画の推進のためのシンポジウム等を開催します。</p>	<p>①、②、③について昨年に引き続き啓発・普及運動を継続推進中。 継続して、我々の取り組みを公益社団法人東京青年会議所HPならびにfacebookページにて発信。</p> <p>(2)詳細未定。</p>
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)の実現		
②男性の家事・育児等への参画		
ア 男性の家事・育児等への参画のための環境づくりの促進		
22	<p>女性が結婚し、子供を産み育てながら、社会に参画できる、仕事が継続できる、社会のシステムが必要です。そのために意識の改革を行っていきます。</p> <p>(1)家庭内意識の変革 家庭内で育児、家事をシェアするという文化をつくります。特に夫の協力を働きかけます。</p> <p>(2)地域内意識の変革 各地区において、子供と教育について議論し、その重要性を発信します。併せて、父親への働きかけを行います。</p> <p>(3)企業内で可能な行動 経営者自身が考え、経営者自身で行動できる当団体の特性を活用して、各企業に対して、子供を育てながら仕事が継続できるように様々な提案をしていきます。(再掲 No.18参照)</p>	<p>(1)父親の育児の行動を変え、夫婦で共に育児を行うための環境整備をすること目的の事業「Shibuya Positive Action2018」の開催予定。</p> <p>(2)各地区において、教育に関して社会実験運動を行う予定。</p> <p>(3)経済政策室にてダイバーシティの推進予定。</p>